

■大谷嘉兵衛 実業家。製茶貿易の基礎を築くとともに、新都市横浜の形成に多大の貢献をした。

おおたにかへえ

天保改革終・1844＝ 伊勢国飯高郡谷野村(三重県飯南郡飯高町)で、吉兵衛の四男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 1歳：

尊徳報徳論・1851＝ 7歳：近くの長楽寺に通って、住職から読み書きそろばんを習い、

ペリー来航・1853＝ 9歳：

松下村塾・・・1856＝12歳：通いを辞め、以後、家事手伝いをしながら、独学。

桜田門外変・1860＝16歳：

生麦事件・・・1862＝18歳：両親の許しを得て、\_横浜に出、隣村の伊勢屋藤兵衛が経営する製茶貿易問屋に就職、

\_茶の調合が得意で、外国商人からも信用され、伊勢屋の発展に貢献して、  
藤兵衛の養子となり、

薩摩藩士密航1865＝21歳：結婚。

薩長同盟・・・1866＝22歳：結婚。

大政奉還・・・1867＝23歳：\*横浜のスミス=ペーカー商会に雇われ、大阪で短期間に記録的な製茶を買入れて、経営者を驚かす。

明治維新・・・1868＝24歳：長男が誕生。\_商会に在籍のまま、製茶売込店を開き、

廃藩置県・・・1871＝27歳：

学問のすすめ1872＝28歳：製茶改良会社を設立。

明治6年政変 1873＝29歳：

\_やがて、横浜における最大の製茶売込商となり、

\_粗製濫造の弊害が出てくると、

琉球処分・・・1879＝35歳：\*全国茶業組合を組織し、横浜で第一回共進会を開き、

・・・1880＝36歳：この年、横浜商法会議所設立。

明治14年政変1881＝37歳：

岩倉具視没・1883＝39歳：

\_神戸で第二回共進会を開いて、ともに成功に導き、製茶貿易の基礎を築く。

\_茶の関税撤廃運動に奔走した後、

\_第74国立銀行および横浜貯蓄銀行の取締役、つづいて頭取となり、

\_横浜貿易商総代に選ばれるなど、日本の茶業界と横浜の財界において確固たる地位を築きあげる。

帝国憲法発布1889＝45歳：\_横浜市議会議員になると議長に推され、

帝国議会始・1890＝46歳：\_神奈川県議員になると市部会議長に推されて、横浜市政の難問題の解決に尽力。

足尾鉾毒始・1891＝47歳：\_茶業組合中央会が設置されるや、以後その議長として活動、

大本教・・・1892＝48歳：横浜貿易商組合総理となり、

郡司千島探検1893＝49歳：横浜市教育会会長となって、教育の発展にも尽力する。

日清戦争始・1894＝50歳：

日清戦争終・1895＝51歳：\_日本製茶株式会社を設立して茶の直輸出に努める。横浜商法会議所の横浜商業会議所への改組に参加し、

白馬会・・・1896＝52歳：資金を提供して、郷里谷野村に“大谷橋”ができる。

八幡製鉄始・1897＝53歳：\_横浜商業会議所会頭となる。

子規句歌革新1898＝54歳：この年、\_米国が製茶関税を新設するや、

Bushidou・・・1899＝55歳：\_第一回万国商業大会の日本代表となって渡米し、関税撤廃を訴えるとともに、世界市況を逸早く知るため

太平洋海底電線敷設速成を建議、

その主張はその後実現したが、茶の輸出はこのころから次第に重要性を減じ、

ピアノ国産化・1900＝56歳：茶のほかに生糸の売込を兼営した。

日比谷公園・1903＝59歳：横浜商業会議所会頭を辞任。

日露戦争始・1904＝60歳：豪雨で“大谷橋”流失。\_マッキンレー大統領に面談して製茶関税撤廃を要求するなど、日本茶振興に尽力。

日露戦争終・1905＝61歳：知事に直訴し、再び資金を提供して、

満鉄発足・・・1906＝62歳：再び、横浜商業会議所会頭、

韓国反日暴動1907＝63歳：勲三等に叙せられて、貴族院議員となり、

伊藤博文暗殺1909＝65歳：2代目“大谷橋”が竣工。\*茶業組合中央会会頭となる。

明治天皇没・1912＝68歳：

湖南汽船・横浜倉庫・横浜電線製造・グランドホテル・相模水力電気など、各社の取締役を歴任、横浜銀行集会所理事、横浜取引所理事長、また横浜市の水道拡張および港湾改良事業に尽力、

民本主義・・・1916＝72歳：

本格政党内閣1918＝74歳：再び貴族院議員となる。

原敬首相暗殺1921＝77歳：横浜商業会議所会頭を辞任するが、

関東大震災・1923＝79歳：この年設立された横浜商業学校を発起し、

治安維持法・1925＝81歳：

共産党事件・1928＝84歳：\*20年務めた茶業組合中央会会頭を辞任し、

国際連盟脱退1933＝89歳：\_没した。

インターネットWikipediaほか、